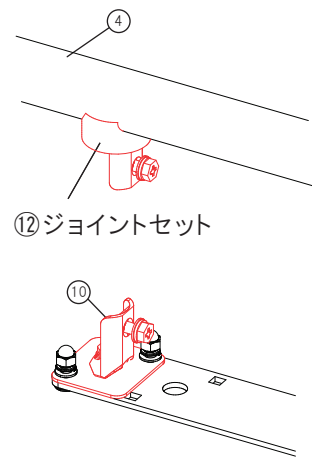
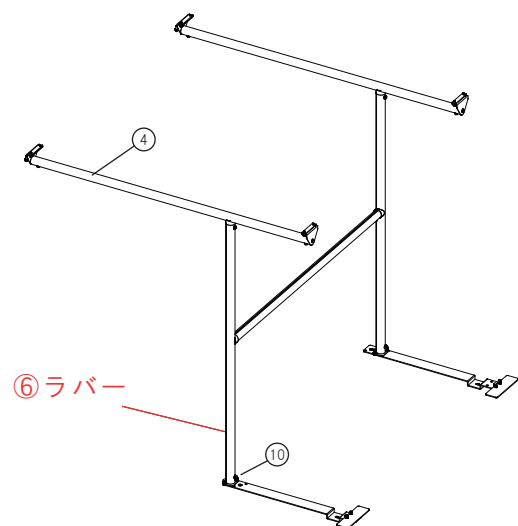
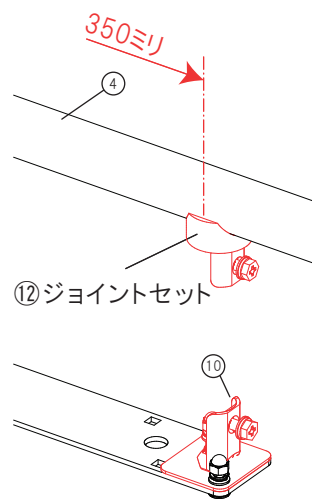
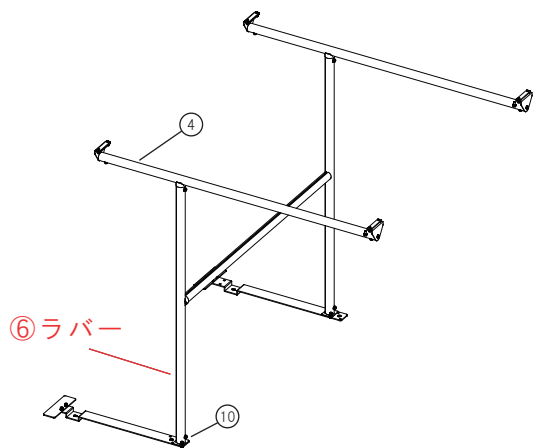


【右側：⑥ラバー左側】



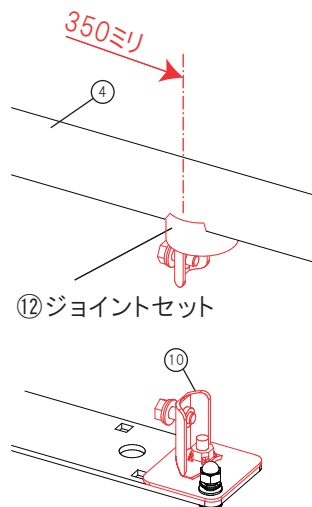
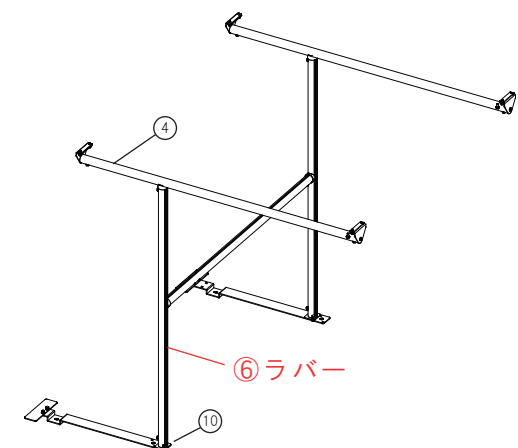
- ⑫ジョイントセットの回転(180度)が必要です。
- ⑩の向きに注意ください。組付け位置は本書と同じです。

【左側：⑥ラバー左側】



- ⑫ジョイントセットの移動と回転(180度)が必要です。
④の端末から350ミリです。
- ⑩の向きに注意ください。組付け位置は本書と同じです。

【左側：⑥ラバー右側】



- ⑫ジョイントセットの移動が必要です。
④の端末から350ミリです。
- ⑩の向きに注意ください。組付け位置は本書と同じです。

Rocky work tool

RWシリーズ 取扱い説明書

RW-11 ラゲッジパーテーション

この度はロッキーワークツール「RWシリーズ」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
常に安全な状態で、ご使用して頂く為に「取扱い説明書」をよくお読みの上ご使用ください。
尚、販売店にて本製品を取付けられましたら、本書を必ずお客様にお渡しください。
製品(組立て、取付け等)についてご不明な点は、お買い求めの販売店又は弊社までお問い合わせください。
誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますので、ご了承ください。

ご使用前に

- △警告：車種、年式により、取付くアイテムが異なります。**組立て、取付け前に車種別適用表を再度ご確認ください。**
- △警告：本製品の改造は絶対に行わないでください。
本製品の改造による事故責任は一切負いかねますのでご了承ください。
- 【例】・本製品以外の部品による組立て及び部品交換
・部品類の穴あけ及び溶接など
・市販品のアタッチメントを使用して荷物(スキー・自転車)を積載するなど
- △警告：部品不足での使用は絶対に行わないでください。

シグナルマークについて

- シグナルマークは危険のレベルを表します。
それぞれのマークの内容をよくご理解頂いた上で、必ず記載の注意事項を守ってください。
- △危険：取扱いを誤った場合に、**死亡、重傷の危険が発生します。**
- △警告：取扱いを誤った場合に、**死亡、重傷の危険が発生する可能性があります。**
- △注意：取扱いを誤った場合に、**軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。**

積載物について

- △注意：最大許容荷重は10kgまでです。過積載は絶対に行わないでください。
また、集中荷重ではなく分散荷重にてご使用ください。破損の要因になります。

取扱い上の注意

- △注意：走行前と走行後には、必ず各締め付け部にユルミが無いか点検してください。
→締め付け部にユルミがあると、思わぬ脱落事故を起こします。
- △注意：使用時は特に法定速度を守り、急発進、急ブレーキ、急ハンドル等の過酷な運転は避け、
悪路では徐行してください。→バーがズレる等、危険な状態に変化することがあります。

保管方法・保守について

- △注意：本体とネジ類の防錆処理を市販の防錆剤等にて、**組立て時及び1カ月に1度に行ってください。**
- △注意：保管する場合は、きれいに清掃し防錆処理を行った上で湿気の無い所で保管してください。
- △注意：表面のキズ等は、その部分からサビが発生することがありますので、タッチペン等で補修してください。

- ◆部品交換について
部品の破損、紛失された場合は、ご使用の品番及び「本書」の構成パーツ表の各部品名にて お買い求めの販売店又は弊社までお問い合わせください。

事故が
起きた時は

製品の欠陥等により万が一事故が発生した場合は、速やかに販売店または弊社までご連絡ください。
事故対応をスムーズに行うためにも、お客様に以下のことをご用意して頂く必要があります。
(1)事故製品の確保：事故発生時のままの状態のもの(製品をバラバラにしない)
(2)損害の内容：損害を受けた現物、また損害を証明できるもの
(3)事故発生状況：日時、場所、事故発生状況、公共機関への届出
(事故、紛失届)いつ、どこで、何が、どのように)
*お客様の誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

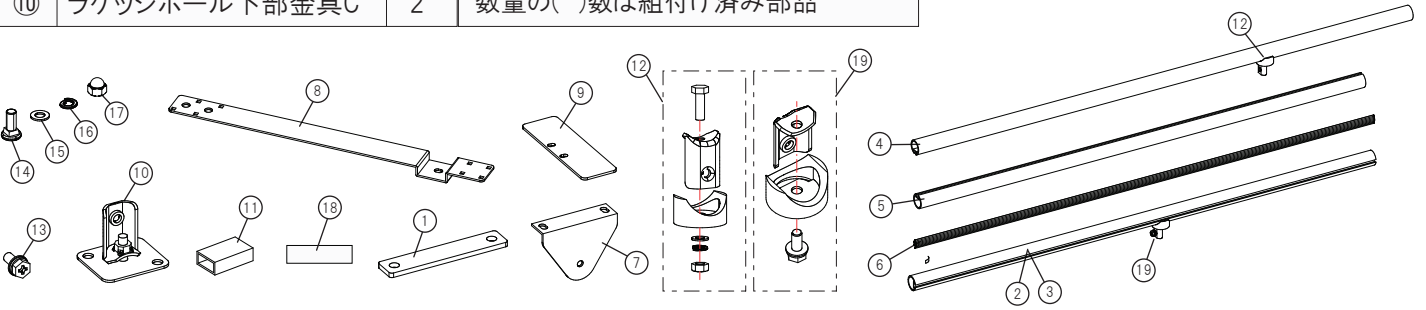
Rocky+ ロッキープラス株式会社

名古屋市守山区元郷2-107 Tel 052-778-7876 Fax 052-778-7718
https://www.rocky.ne.jp rocky@rocky.ne.jp

構成パーツ

●構成パーツは検査済みですが組立てを行う前に必ず、ご確認をしてください。

No.	部 品 名	数量	No.	部 品 名	数量
①	マルチレールスライド金具	4	⑪	アルミ角スペーサー	1
②	Φ32溝付アルミパイプ縦右	1	⑫	ジョイントセット	(2)
③	Φ32溝付アルミパイプ縦左	1	⑬	六角ボルトセット M6×15黒	22
④	Φ32溝付アルミパイプ L1180	2	⑭	角根ボルト M6×12 UC	8
⑤	Φ32溝付アルミパイプ L1004	1	⑮	平座金 6×13 UC	8
⑥	Φ32ラバー L1146	2	⑯	バネ座金 6 UC	8
⑦	Φ32用L形ステー	4	⑰	袋ナット M6 UC	8
⑧	ラゲッジポール下部金具A	2	⑱	ゴムシート	4
⑨	ラゲッジポール下部金具B	2	⑲	ジョイントセットB	(2)
⑩	ラゲッジポール下部金具C	2	数量の()数は組付け済み部品		



<完成図>

取付要領（前方を見て右側の場合）

ポイント:別売の「RW-50 リングフック」は初めに組付けをしてください。

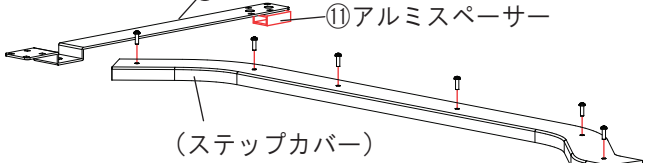
1. ラゲッジの車両のフック(前後各1個)を一旦取り外します。<図1>

<図1>

(フック)

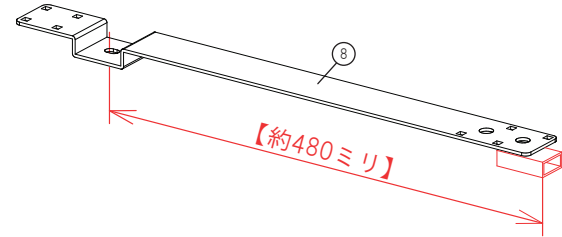
2. スライドドアのステップカバーを一旦外します。<図2>

<図2>



3. 床のマットをめくり、⑪アルミスペーサーを床に貼り付けます。
貼り付け位置はフックのボルトより約480ミリです。
マットに位置をマーキングしてください。<図2><図3>
その時、貼り付け面の油膜を取り除いてください。

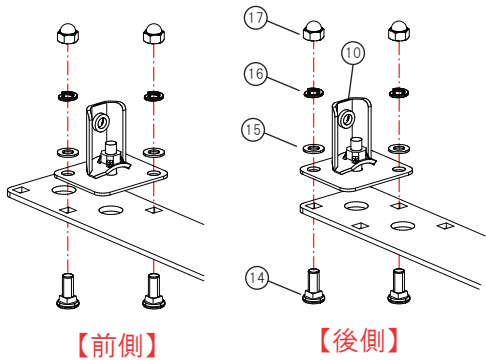
<図3>



<ポイント>
貼り付けが困難の場合は、バックドアのステップカバーを外すと緩和されます。
但し、気温が低い時、マットが収縮し穴ずれします。長時間の放置を
しないでください。

4. ⑧ラゲッジポール下部金具Aに⑩縦ポール下部金具Cを組付けます。
その時、⑩ラゲッジポール下部金具Cの向きに注意してください。<図4>

<図4>



【前側】

【後側】

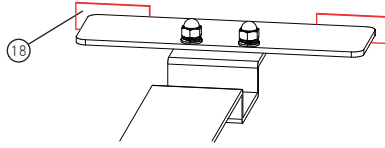
5. ⑧ラゲッジポール下部金具Aに⑨ラゲッジポール下部金具Bを組付けます。
その時、⑨ラゲッジポール下部金具Bの向きに注意してください。<図5>

【前側】:外側にねじ(⑭⑮⑯⑰)にて組付けします。

【後側】:内側にねじ(⑭⑮⑯⑰)にて組付けします。

6. 組付けた⑧ラゲッジポール下部金具Aをマットの四角穴より通し、
フックを⑧ラゲッジポール下部金具Aの上から元に戻して固定します。
その時、⑨ラゲッジポール下部金具Bの両端のボディに⑱ゴムシートを貼り、
ボディに沿わせて固定してください。<図5><図5A>

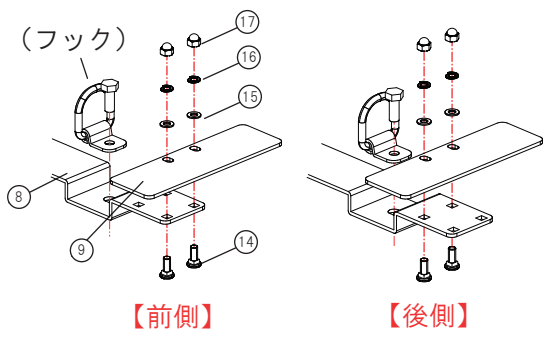
<図5A>



7. ⑤ Φ32溝付アルミパイプ L1004の溝を上にして、
②③ Φ32溝付アルミパイプ縦右左の短い方を上にし、
⑬六角ボルトセット M6×15黒にて組付けします。
そして、⑥ Φ32ラバー L1146を2本通します。<図6>

<注意>
・組み上げたH形をねじらないでください。接続部が壊れます。

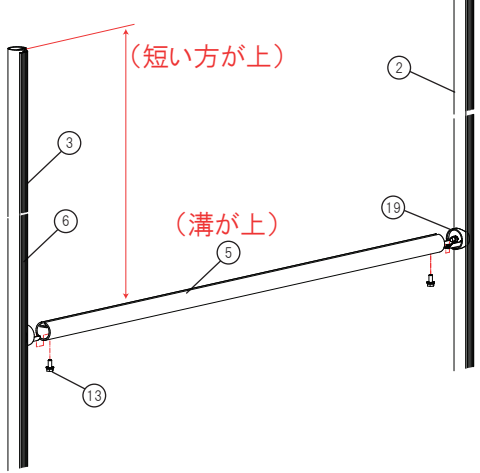
<図5>



【前側】

【後側】

<図6>



(短い方が上)

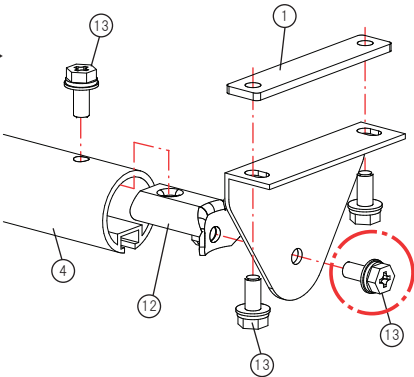
(溝が上)

8. ④ Φ32溝付アルミパイプ L1180に⑫ステップ金具を差し込み、
⑬六角ボルトセット M6×15黒にて組付けします。<図7>

9. ⑦ Φ32用L形ステーと①マルチレールスライド金具を
⑬六角ボルトセット M6×15黒にてゆるく組付けします。<図7>

10. ④ Φ32溝付アルミパイプ L1180と⑦ Φ32用L形ステーを
⑬六角ボルトセット M6×15黒にてゆるく組付けします。<図7>

<図7>



11. ②③ Φ32溝付アルミパイプ縦右左(H形)をねじらずに、
⑩ラゲッジポール下部金具Cに差し込み、
⑬六角ボルトセット M6×15黒にて固定します。<図8>

12. ④ Φ32溝付アルミパイプ L1180の組付け品(2本)を
「RW-16 マルチレール」に通します。

13. <図7>の⑦ Φ32用L形ステーの
⑬六角ボルトセット M6×15黒を片側だけを一旦外し、
②③ Φ32溝付アルミパイプ縦右左(H形)に差し込みやすくします。

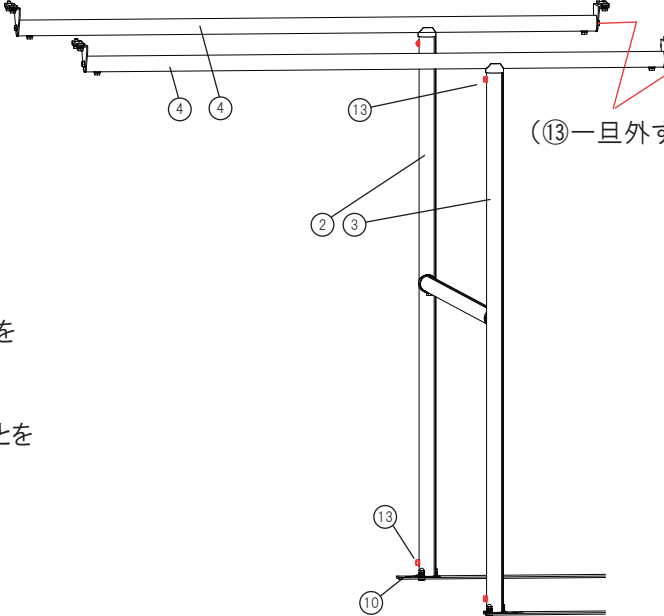
14. ④ Φ32溝付アルミパイプ L1180と
②③ Φ32溝付アルミパイプ縦右左を
⑬六角ボルトセット M6×15黒にて固定します。<図8>

15. 全体バランスを調整しながら、全ての六角ボルトセット M6×15黒を
しっかりと締め付けします。

16. 最後にラゲッジパーテーションを前後左右に揺すり、ガタツキが無いことを
確認してください。
ガタツキがある場合は再度取付けをやり直してください。

警告：取付けた初期段階では初期ユルミは必ず発生します。
定期的に締付部の増締めを習慣に行ってください。

<図8>



(⑬一旦外す)